

国立国語研究所学術情報リポジトリ

Endangered Languages and Dialects in Japan

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-06-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 木部, 暢子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003352

危機言語・危機方言の記録と記述と復興

Endangered Languages and Dialects in Japan

いま世界中の弱小言語が消滅の危機にあります。

下の地図はUNESCOが2009年に発表した
Atlas of the World's Languages in Danger (世界消滅危機言語地図) です。

世界中で約2,500の言語、日本では8つの言語が近いうちに消滅する危険性があると指摘されました。



<http://www.unesco.org/languages/atlas/index.php> (2018.07.06)

なぜ、弱小言語を
守らなければなら
ないのでしょうか。

伝統、文化の継承を支えてきた言葉を失うことは、自然の貴重な教科書を失うことに等しい (2001年 テプファー国連環境計画事務局長の発言)

言語はアイデンティティ (自分が自分であること) の象徴。言語がなくなると地域のアイデンティティがなくなってしまう。

言語には知識・思考・感情・感性の基盤としての役割がある。言語の多様性が失われれば、これらの人間のいとなみを解明する手がかりがなくなってしまう。

多様性を守るために以下の3つのプロジェクトで活動しています。

国立国語研究所共同研究プロジェクト「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」

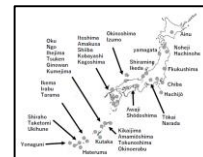
全国40地点の方言の辞書・文法書・談話テキストを作成しています。
危機言語・方言のデータを公開しています。

人間文化研究機構広領域連携型プロジェクト「日本列島における地域社会変貌・災害からの地域文化の再構築」

宮崎県椎葉村、愛知県木曽川町、青森県むつ市、八戸市などで、地域の人たちと協力して、方言の合同調査を行っています。
全国の大学生・大学院生が公募により参加します。

人間文化研究機構「博物館・展示を活用した最先端研究の可視化・高度化」事業

各地でモバイル型展示ユニットを使った展示を行っています。
文化庁と協力して毎年「危機言語・方言サミット」を開催しています。



全国40地点の調査



危機言語DB
<http://kikigengo.ninjal.ac.jp/>



日本語諸方言コーパス(COJADS)
<https://chunagon.ninjal.ac.jp/cojads/search>



モバイル型展示ユニット



椎葉村方言調査風景



危機言語・方言サミット(与論)

2019/7/20 国語研オープンハウス